

上記のように、当社とボッシュは、それぞれの事業分野において新規技術・ノウハウを創出し、世の中に対し利便性や安全性を提供してまいりました。当社グループは、2022年8月31日に公表しております「事業計画及び成長可能性に関する事項」において、当社的主軸事業であるモビリティ事業の更なる拡大を成長戦略として掲げ、業績の向上に努めておりました。このような状況の中、当社は、先進支援運転システム（ADAS）向け画像認識関連の技術実証実験を受託しておりましたボッシュより資本業務提携のご提案をいただき、当社といたしましても前向きに進めてまいりました。両社で慎重に検討を重ねた結果、今後、益々発展していくと予想される市場環境の中で成長をより加速させるためには、当社グループだけではなく、他企業とのアライアンスによって、事業の拡大を図ることが重要であるとの判断に至りました。今般の業務提携により、先進支援運転システム（ADAS）向け画像認識分野において新たな価値創造を提供できること、また、開発パイプライン拡充への寄与による当社の長期安定的な収益基盤の確立に繋がることが期待されるため、本業務委託契約に合意いたしました。

併せて、両社は、かかる開発業務を着実に推進していくにあたり、ボッシュが当社株式を保有することにより、両社グループの関係を一層深化させ、長期的な戦略パートナーシップを構築することになると判断し、本資本提携契約に合意いたしました。

2. 本資本業務提携の内容

(1) 業務委託契約の内容

当社とボッシュとの間で現時点において合意している業務委託契約の概要は、以下のとおりとなります。

- ・ADAS システム向け画像認識分野における専門的なエンジニアリングサービス及び技術の提供

(2) 資本提携契約の内容

当社は、本第三者割当増資により、ボッシュに当社の普通株式 293,937 株（第三者割当後の持株比率 5.02%）を割当てます。本第三者割当増資の詳細は、後記「Ⅱ. 本第三者割当増資について」をご参照ください。ボッシュとの協議の結果、当社株式の必要以上の希薄化を防ぐという点も考慮しつつ、曹暉氏が保有する当社普通株式の一部である 146,968 株（本売出し後の持株比率 2.51%）、脇健一郎氏が保有する当社普通株式の一部である 146,968 株（本売出し後の持株比率 2.51%）の売出しも組み合わせた形での取組みとしております。本売出しの詳細は、下記「Ⅲ. 株式の売出し」をご参照ください。

3. 本資本業務提携の相手先の概要

(1) 名称	ボッシュ株式会社
(2) 所在地	東京都渋谷区渋谷三丁目 6 番 7 号
(3) 代表者の役職・氏名	代表取締役社長 クラウス・メーダー
(4) 事業内容	自動車機器の開発・製造・販売および自動車機器アフターマーケット製品、自動車整備機器、電動工具の輸入販売・サービスなど。
(5) 資本金	17,000 百万円（2022 年 12 月 31 日現在）

(6)	設立年月日	1939年7月17日		
(7)	発行済株式数	28株		
(8)	決算期	12月31日		
(9)	従業員数	連結：5,980人/単体：5,185人(2022年12月31日現在)		
(10)	主要取引先	(株)クボタ、トヨタ自動車(株)、日産自動車(株) 本田技研工業(株)、マレリ(株)		
(11)	主要取引銀行	ドイツ銀行、みずほ銀行		
(12)	大株主及び持株比率	Robert Bosch Internationale Beteiligungen AG.100%		
(13)	当社との間の関係			
	資本関係	該当事項はありません。		
	人的関係	該当事項はありません。		
	取引関係	画像認識ソフトウェア開発の受託		
	関連当事者等への該当状況	該当事項はありません。		
(14)	最近3年間の連結財政状態及び連結経営成績(注)			
	決算期	2020年12月期	2021年12月期	2022年12月期
	純資産	55,434	76,695	98,026
	総資産	175,427	175,611	201,944
	1株当たり純資産 (円)	1,960,324,390	2,722,132,859	3,480,864,307
	売上高	279,249	304,082	348,663
	営業利益	18,606	23,896	30,345
	経常利益	31,235	27,910	36,898
	当期純利益	21,916	20,220	22,858
	親会社株主に帰属する 当期純利益	21,893	20,135	22,799
	1株当たり当期純利益 (円)	781,917,568	719,141,803	814,284,700
	1株当たり配当金 (円)	1,428,781,000	-	-

(注) 最近3年間の連結財政状態及び連結経営成績の単位は百万円。ただし、特記しているものを除く。

4. 本資本業務提携の日程

(1) 取締役会決議日	2023年6月2日
(2) 本資本提携契約の締結日	2023年6月2日
(3) 本業務提携の開始日	2023年6月5日(予定)
(4) 本第三者割当増資の払込期日	2023年7月6日(予定)

5. 今後の見通し

下記「II. 本第三者割当増資について 8. 今後の見通し」をご参照ください。

II. 本第三者割当増資について

1. 募集の概要

(1) 払込期日	2023年7月6日
(2) 発行新株式数	当社普通株式 293,937 株
(3) 発行価額	1株当たり 619 円
(4) 調達資金の額	181,947,003 円
(5) 募集又は割当方法	第三者割当の方法により、ボッシュに全株式を割り当てます。
(6) その他	本資本業務提携において、本第三者割当増資の払込みについては、金融商品取引法に基づく有価証券届出書の効力が発生していること、本第三者割当増資について私的独占の禁止及び公正取引の確保に関する法律及び外国為替及び外国貿易法に基づく手続が完了していること等が条件とされております。

2. 本第三者割当増資の目的及び理由

上記「I. 本資本業務提携について 1. 本資本業務提携の目的・理由」をご参照ください。

3. 調達する資金の額、使途及び支出予定時期

(1) 調達する資金の額

① 払込金額の総額	181,947,003 円
② 発行諸費用の概算額	5,000,000 円
③ 差引手取概算額	176,947,003 円

(注) 1. 発行諸費用の概算額には、消費税等は含まれておりません。

2. 発行諸費用の概算額の内訳は、弁護士費用、登記関連費用、株式事務手数料、その他諸費用です。

(2) 調達する資金の具体的な使途及び支出予定時期

本第三者割当増資により当社が調達する差引手取概算額 176,947,003 円の具体的な使途は以下のとおりです。

具体的な資金使途	金額 (百万円)	支出予定時期
① 事業拡大のための採用費及び人件費	126	2023年6月～2026年6月
② 開発環境構築のための設備投資	50	2023年6月～2024年6月

(注) 1. 支出時期までの資金管理については、銀行預金として管理する予定であります。

2. 上記具体的な使途につき、優先順位はございません。支出時期の早いものより充当する予定であります。

①事業拡大のための採用費及び人件費

2022年8月31日に公表しております「事業計画及び成長可能性に関する事項」において、当社の主軸事業であるモビリティ事業の更なる拡大を成長戦略として掲げております。国内・海外の車載カメラ市場において、より一層シェアの拡大を目指すにあたり、自動車部品世界シェア最大手であるボッシュとの ADAS 向け画像認識関連分野における関係構築が

重要であると認識しております。このため、エンジニアを中心とした専任チームを編成し、エンジニアリングサービスの提供を促進することを計画しております。当該専任チームの編成のため、高い技術力を持つ優秀なエンジニア等の採用（中期的に15～20名程度）を目的とした人材採用費用及び人員増加に伴う人件費の一部として126百万円を充当する予定であります。

②開発環境構築のための設備投資

ボッシュとの共同開発のための開発環境構築を予定しており、これに必要な増員に伴う事業施設の増床（114.21坪、現在の本社入居ビルの別フロアの賃借）及び情報セキュリティ体制の拡充、必要な備品等の調達（ハードウェア、ソフトウェア等）に50百万円を充当する予定であります。なお、当該増床による増産効果を現時点で算定することは困難であります。

4. 資金使途の合理性に関する考え方

本第三者割当増資は、上記「3. 調達する資金の額、使途及び支出予定時期（2）調達する資金の具体的な使途及び支出予定時期」に記載のとおり使途に充当することにより、当社の中長期的な企業価値向上に資するものと考えており、本第三者割当増資の資金使途については合理性があると判断しております。

5. 発行条件等の合理性

（1）払込金額の算定根拠及びその具体的内容

本株式の発行価額は、本第三者割当増資に係る取締役会決議日の直前営業日（2023年6月1日）の東京証券取引所グロース市場における当社普通株式の終値619円と同値である619円といたしました。上記払込金額は、直近の市場価格に基づくものが合理的であると判断したこと及び、日本証券業協会の「第三者割当増資の取扱いに関する指針」（平成22年4月1日）により、原則として株式の発行に係る取締役会決議日の直前営業日の価格（直前日における売買がない場合は、当該直前営業日からさかのぼった直前営業日の価格）を基準として決定することとされているため、本第三者割当増資に係る取締役会決議日の直前営業日の終値を基準といたしました。なお、当該発行価額については、取締役会決議日の直前営業日までの1か月間の終値平均価額612円に対し1.1%のプレミアム（小数点以下第2位を四捨五入、以下同じ。）、当該直前営業日までの3ヶ月間の終値平均638円に対し3.0%のディスカウント、当該直前営業日までの6か月間の終値の平均価額666円に対し7.1%のディスカウントとなっております。これは、日本証券業協会「第三者割当増資の取扱いに関する指針」に照らしても、特に有利な金額には該当しないものと判断しております。

また、監査役3名（全員社外監査役）から、上記発行価格について、本件取締役会決議日の直前営業日の終値を基準としたことは、当社株式の価値を表す客観的な値である市場価格を基準にしていること及び上記発行価格は上記日本証券業協会の「第三者割当増資の取扱いに関する指針」に準拠して決定したものであることから、当社の直近の財政状態及び経営成績等が反映されていると考えられることに鑑みて、特に有利な払込金額には該当しない旨の意見を得ております。

（2）発行数量及び株式の希薄化の規模が合理的であると判断した根拠

本第三者割当増資により発行する普通株式数は293,937株（議決権の数2,939個）であり、2022年12月31日時点における当社の発行済普通株式総数5,555,852株（総議決権数55,485個）に対して5.29%（議決権総数に対する割合は5.30%）となり、一定の希薄化が生じることとなります。しかしながら、本第三者割当増資は、本資本業務提携の一部であり、

本資本業務提携によりボッシュとの関係を深化させ、当社開発体制の拡大や開発パイプライン拡充への寄与による当社の長期安定的な収益基盤の確立につながることから、当社としては大きく企業価値の向上を図ることができると考えております。

以上の理由により、当社といたしましては、本第三者割当増資は、企業価値、株主価値の向上に寄与するものと見込まれ、既存株主の利益にも資するものと判断しており、今回の発行数量及び株式の希薄化規模は合理的であると判断しております。

6. 割当予定先の選定理由等

(1) 割当予定先の概要

上記「I. 本資本業務提携について 3. 本資本業務提携の相手先の概要」をご参照ください。

(注) 割当予定先であるボッシュ並びにその役員及び主要株主が反社会的勢力である事実、反社会的勢力が同社の経営に関与している事実、同社、その役員及び主要株主が資金提供その他の行為を行うことを通じて反社会勢力の維持、運営に協力もしくは関与している事実及び同社、その役員及び主要株主が意図して反社会勢力との交流を持っている事実の有無について、同社からのヒアリングにより、かかる事実がない旨を直接確認するとともに、当社においても、日経テレコンを利用し、過去の新聞記事の検索を行うとともに、反社会的勢力等を連想させる情報及びキーワードを絞り込み、複合的に検索することにより、反社会的勢力等との関わりを調査しましたが、反社会的勢力等との関わりを疑わせるものは検出されませんでした。また、割当予定先との間で締結する本資本提携契約において、割当予定先から反社会的勢力ではなく、または反社会的勢力と何らかの関係を有していない旨の表明を受けております。

上述を踏まえ、当社は、ボッシュ並びにその役員及び主要株主が反社会的勢力ではなく、また反社会的勢力との関係を有していないものと判断し、株式会社東京証券取引所に対し「割当を受ける者と反社会的勢力との関係がない事を示す確認書（第三者割当）」を提出しております。

(2) 割当予定先を選定した理由

ボッシュを割当予定先として選定した理由は、上記「I. 本資本業務提携について 1. 本資本業務提携の目的・理由」に記載のとおりです。

(3) 割当予定先の保有方針

第三者割当増資により発行する割当新株式について、ボッシュからは当社が第三者に譲渡する予定はなく、長期間保有する予定である旨を口頭で確認しております。

なお、当社は割当予定先であるボッシュと、割当予定先が株式払込期日から2年以内に当該株式の全部又は一部を譲渡した場合には、直ちに譲渡を受けた者の氏名及び住所、譲渡株式数の内容を当社に書面により報告すること、当社が当該報告内容等を株式会社東京証券取引所に報告すること、並びに割当予定先が当該報告内容が公衆縦覧に供されることに同意することを内容とする確約書を取得する予定であります。

(4) 割当予定先の払込みに要する財産の存在について確認した内容

ボッシュは、親会社である Robert Bosch GmbH が運営するキャッシュマネジメントシステム（以下「CMS」といいます。）を利用しており、ボッシュから当該CMSの概要についての説明を受けることにより、払込期日までに融資を受けられること等を確認するとともに、当該融資の承認に関する内部レターを受領し、その借入可能額を確認することにより、払込みに要する資金を確保しているものと判断しております。

7. 第三者割当増資及び株式売出し後の大株主及び持株比率

本第三者割当増資前 (2022年12月31日現在)		本第三者割当増資後	
曹 暉	25.08%	曹 暉	21.31%
王 潞	16.17%	王 潞	15.36%
脇 健一郎	14.58%	脇 健一郎	11.34%
HUIZHOU DESAYS V AUTOMOTIVE C O., LTD. (常任代理人SMB C日興証 券株式会社)	9.50%	ボッシュ株式会社	10.05%
ニッセイ・キャピタル6号投資 事業有限責任組合	1.40%	HUIZHOU DESAYS V AUTOMOTIVE C O., LTD. (常任代理人SMB C日興証券 株式会社)	9.03%
楽天証券株式会社	1.24%	ニッセイ・キャピタル6号投資事 業有限責任組合	1.33%
株式会社SBI証券	1.14%	楽天証券株式会社	1.18%
SMB C日興証券株式会社	0.77%	株式会社SBI証券	1.09%
服部 徹也	0.53%	SMB C日興証券株式会社	0.74%
長瀬 泰	0.51%	服部 徹也	0.51%

- (注) 1. 本第三者割当増資前の持株比率は、2022年12月31日現在の株主名簿を基準として記載しております。
2. 本第三者割当増資後の持株比率は、2022年12月31日現在の当社発行済株式総数5,555,852株(総議決権数55,485個)に、本第三者割当増資により増加する株式数(293,937株)を加えて算出したものです。
3. 持株比率は発行済株式(自己株式を除く。)の総数に対する比率を記載しております。また、小数点以下第三位を四捨五入して算出しております。
4. 本第三者割当増資の払込期日と同日付で、ボッシュは、当社の取締役である曹暉氏及び脇健一郎氏から相対取引により両氏の保有株式293,936株(議決権数2,939個)を取得する予定であり、ボッシュの募集後の持株比率は当該293,936株を加え、曹暉氏及び脇健一郎氏の募集後の持株比率はそれぞれ当該146,968株を除いて算出しております。

8. 今後の見通し

本資本業務提携及び本第三者割当増資が当社の2023年6月期の業績に与える影響は軽微であると考えておりますが、中長期的な当社の企業価値向上に資するものであると考えております。今後、適時開示の必要性が生じた場合には速やかに開示いたします。

9. 企業行動規範上の手続きに関する事項

本第三者割当増資は、①希薄化率が25%未満であること、②支配株主の異動を伴うものではないことから、東京証券取引所の定める有価証券上場規程第432条に定める独立第三

者からの意見入手及び株主の意思確認手続は要しません。

10. 最近3年間の業績及びエクイティ・ファイナンスの状況

(1) 最近3年間の業績(連結)

決算期	2020年6月期	2021年6月期	2022年6月期
売上高	419,701千円	260,356千円	382,688千円
営業利益又は営業損失(△)	98,513千円	△64,442千円	25,677千円
経常利益又は経常損失(△)	90,800千円	△62,549千円	26,753千円
親会社株主に帰属する当期純利益又は親会社株主に帰属する当期純損失(△)	66,537千円	△62,150千円	29,023千円
1株当たり当期純利益又は1株当たり当期純損失(△)	12.62円	△11.31円	5.27円
1株当たり配当金	—	—	—
1株当たり純資産	96.92	92.15円	102.53円

(2) 現時点における発行済株式数及び潜在株式数の状況(2023年6月2日現在)

	株式数	発行済株式総数に対する比率
発行済株式総数	5,555,852株	100.00%
現時点の転換価額(行使価額)における潜在株式数の総数	28,938株	0.52%
下限値の転換価額(行使価額)における潜在株式数	—株	—%
上限値の転換価額(行使価額)における潜在株式数	—株	—%

(3) 最近の株価の状況

① 最近3年間の状況

	2020年6月期	2021年6月期	2022年6月期
始値	4,710円	4,150円	1,277円
高値	5,410円	4,290円	1,380円
安値	3,700円	1,085円	435円
終値	4,195円	1,231円	601円

② 最近6か月間の状況

	2023年1月	2月	3月	4月	5月	6月
始値	655円	724円	696円	685円	613円	616円
高値	743円	743円	718円	693円	655円	619円
安値	622円	650円	620円	606円	581円	613円
終値	724円	700円	665円	613円	616円	619円

(注) 2023年6月の株価は、2023年6月1日までのものであります。

③ 発行決議日前営業日における株価

	2023年6月1日
始値	616円
高値	619円
安値	613円
終値	619円

(4) 最近3年間のエクイティ・ファイナンスの状況

・公募増資（新規上場時）

払込期日	2020年6月24日
調達資金の額	65,760千円（差引手取概算額）
発行価額	478.40円
募集時における発行済株式数	5,259,000株
当該募集による発行株式数	150,000株
募集後における発行済株式数	5,409,000株
発行時における当初の資金使途	開発体制構築のための人件費及びエージェント利用料や紹介料などの採用費
発行時における支出予定時期	2021年6月期：44,092千円、2022年6月期：63,142千円
現時点における資金の充当状況	人件費及びエージェント利用料や紹介料などの採用費として62,505千円充当済。残額は2023年6月期に充当予定。

・第三者割当増資（新規上場時）

払込期日	2020年7月29日
調達資金の額	41,475千円（差引手取概算額）
発行価額	478.40円
募集時における発行済株式数	5,409,000株
当該募集による発行株式数	87,000株
募集後における発行済株式数	5,496,000株
発行時における当初の資金使途	開発体制構築のための人件費及びエージェント利用料や紹介料などの採用費
発行時における支出予定時期	2021年6月期：44,092千円、2022年6月期：63,142千円
現時点における資金の充当状況	人件費及びエージェント利用料や紹介料などの採用費として62,505千円充当済。残額は2023年6月期に充当予定。

（注）発行時における当初の資金使途及び支出予定時期については、公募増資（新規上場時）及び第三者割当増資（新規上場時）における其々の調達資金の額（差引手取概算額）を併せた手取概算額合計107,235千円に係る内容であり、現時点における資金の充当状況もかかる手取概算額合計について、それぞれ記載しております。

11. 発行要項

(1) 募集株式の種類及び数	当社普通株式 293,937株
(2) 払込金額	1株当たり 619円

(3) 払込金額の総額	181,947,003 円
(4) 増加する資本金及び資本準備金の額	増加する資本金の額 90,973,502 円 増加する資本準備金の額 90,973,501 円
(5) 募集又は割当方法 (割当予定先)	第三者割当の方法により、ボッシュに全株式を割り当てます。
(6) 払込期日	2023年7月6日
(7) その他	上記各号については、金融商品取引法による届出の効力が発生していることが条件となります。

III. 株式の売出し

1. 売出しの概要

2023年6月2日付で、当社の取締役である曹暉氏及び脇健一郎氏はボッシュとの間で、曹暉氏が保有する当社普通株式の一部である146,968株を、脇健一郎氏が保有する当社普通株式の一部である146,968株を割当予定先へ市場外の相対取引により譲渡する旨の契約を締結することから、以下のとおり本売出しを行います。

なお、本売出しが実行された場合、ボッシュが保有することとなる当社株式の数は、本第三者割当増資により取得する293,937株と合計して587,873株(議決権数5,878個)となり、当社の2022年12月31日時点における発行済株式総数5,555,852株に、本第三者割当増資により増加する株式数293,937株を加えた5,849,789株の10.05%(総議決権数55,485個に本第三者割当増資により増加する議決権数2,939個を加算した総議決権の数58,424個に対する割合は10.06%)にあたります。

(1) 売出株式の種類及び数	当社普通株式 293,936株
(2) 売出価格	1株につき619円
(3) 売出価額の総額	181,946,384円
(4) 売出株式の所有者及び売出株式数	脇健一郎 146,968株 曹暉 146,968株
(5) 売出方法	脇健一郎及び曹暉によるボッシュに対する当社普通株式の譲渡
(6) 申込期間	2023年7月6日
(7) 受渡期日	2023年7月6日(予定)
(8) 申込証拠金	該当事項はありません。
(9) その他	上記各項については、金融商品取引法に基づく有価証券通知書を提出しております。

2. 本売出しにより株式を取得する会社の概要

上記「I. 本資本業務提携について 3. 本資本業務提携の相手先の概要」をご参照ください。

IV. 主要株主の異動

1. 異動が生じる経緯

本第三者割当増資及び本売出しにより、割当予定先であるボッシュは、当社の主要株主に該当する見込みです。

2. 異動する株主の概要

ボッシュの概要は、上記「I. 本資本業務提携について 3. 本資本業務提携の相手先の

概要」をご参照ください。

3. 異動前後における当該主要株主の所有する議決権の数（所有株式数）及び総株主の議決権の数に対する割合

	議決権の数 (所有株式数)	総株主の議決権の 数に対する割合	大株主順位
異動前	—	—	—
異動後	5,878 個 (587,873 株)	10.06%	第 4 位

- (注) 1. 議決権のない株式として発行済株式総数から控除した株式数 3,881 株
2. 発行済株式総数（2022 年 12 月 31 日現在）5,555,852 株
3. 異動後の総株主の議決権の数に対する割合は、2022 年 12 月 31 日現在の総議決権数 55,485 個に本第三者割当増資により増加する議決権数 2,939 個を加算した総議決権の数 58,424 個に対する割合を算出しております。なお、小数点以下第三位を四捨五入して記載しております。
4. 大株主順位は、2022 年 12 月 31 日現在の株主から、本第三者割当増資による株主の異動以外に変動が生じないことを前提としております。

4. 異動予定年月日
2023 年 7 月 6 日

5. 今後の見通し
上記「Ⅱ. 本第三者割当増資について 8. 今後の見通し」をご参照ください。

以 上